中運自貨第516号
20230221 中部第1号
愛労発基0303 第1号
令和5年3月3日

一般社団法人中部経済連合会
会長 水野 明久 殿

国土交通省中部運輸局長
大石 英一郎

経済産業省中部経済産業局長
田中 耕太郎

厚生労働省愛知労働局長
代田 雅彦

トラック運送事業の取引環境適正化に向けた取組へのご理解とご協力のお願いについて

現在、政府では、新しい資本主義の実現に向け、成長と分配の好循環を生み出すべく、民間企業による賃上げのための環境整備に取り組んでおります。我が国の雇用の約7割を支える中小企業における賃上げを実現するためには、コストの適切な価格転嫁が必要不可欠です。

その中でも、トラック運送事業は、国内物流の基幹産業として、我が国の経済成長と国民生活を支える重要な役割を担っていますが、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響や、燃料費等の上昇など世界的な物価高の影響により、大変厳しい経営環境に置かれています。

さらには、令和6年4月から適用される時間外労働の上限規制や改正改善基準告示への対応、カーボンニュートラルの実現に向けた取組なども求められているところです。

こうした中、担い手を確保し、物流を持続可能なものとしていくためには、着荷主を含む荷主や一般消費者も一緒になって、それぞれの立場で担うべき役割を再考し、物流が直

面している諸課題の解決に向けた取組を進めることが必要不可欠であることから、昨年9月に関係各省が連携して「持続可能な物流の実現に向けた検討会」を設置、先月8日に中間取りまとめが公表され、今後、最終取りまとめに向けて検討することとされています。

これまでも、政府としては、荷主への働きかけや標準的な運賃の浸透、取引先との共存共栄を目指し、オープンイノベーション等の新たな連携や価格決定方法をはじめとした下請企業との望ましい取引慣行の遵守に取り組むことを発注者側の立場から宣言するパートナーシップ構築宣言の拡大、毎年9月と3月の価格交渉促進月間による価格転嫁等の取引適正化に向けた取組、時間外労働の上限規制等の周知、トラック運転者の長時間労働削減に向けた支援等を実施してきたところです。

つきましては、貴連合会におけるこれまでのご協力に感謝申し上げるとともに、トラック運送事業の取引環境適正化に向けた取組についてより一層のご理解をいただき、下記事項について、傘下会員への周知等に引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

運賃については、適切なコストに基づき、荷主、元請事業者、下請事業者が協議を行い決定する必要があることから、価格交渉の申出をしやすい環境の整備を図り、トラック運送事業者から運賃交渉の申出があった場合には積極的に応じ、燃料費等のコスト上昇分を考慮した上で、十分に協議を行っていただくこと。

また、運送を依頼する際は、トラック運送事業者が遵守すべき関係法令について配慮を行っていただくこと。

【関係各省の取組・施策等】

- ・ 持続可能な物流の実現に向けた検討会
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sustainable_logistics/index.html
- ・ 「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト
<https://white-logistics-movement.jp/>
- ・ 標準的な運賃の告示
https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000213.html
- ・ 「パートナーシップ構築宣言」ポータルサイト
<https://www.biz-partnership.jp/>
- ・ 価格交渉促進月間
<https://tekitorisupport.go.jp/topics/gekkan/>
- ・ 時間外労働の上限規制-働き方改革特設サイト-
<https://hatarakikatatakaikaku.mhlw.go.jp/overtime.html>
- ・ トラック運転者の改善基準告示が改正されます！
<https://www.mhlw.go.jp/content/001035028.pdf>
- ・ 自動車運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト
<https://driver-roudou-jikan.mhlw.go.jp/>